

ひまわり在宅サポートグループ ひまわり訪問看護ステーション

武山 朋子(社会福祉士/ひまわり障がい者相談支援室)

- 功 績** 県内で初めて設立された、行政主体の地域包括ケア推進の中核的な拠点機能を持つ『ささえあいセンター』への職員派遣に応え、さまざまな困難ケースへの介入をはじめ、数多くの提案を実現させるため奔走し、石巻市の地域包括ケアの中心として活躍している功績。
- 推 薦 者** 伊藤清彦 (所長/中央包括支援センター)
- 推 薦 理 由** まだ誰もやったことのないささえあいセンターの職員としての業務を開拓している他、利用者さんをひまわりへ紹介するなどの経営的な貢献も大きく、石巻市内における健育会の評価を著しく高めた功績は理事長賞に値すると考え推薦させて頂きたく存じます。

内 容

武山は入職3年目となる社会福祉士です。ひまわりへは障がい者相談支援室の相談員として入職してきました。当初から問題意識が高く、どんな難しいケースにおいても愚直に利用者さんと対峙し、真摯な対応をしてきたことから、ひまわり内部だけではなく外部の障害者事業所からも信頼が厚い職員でした。

そんな中、一昨年より行政から、『ささえあいセンターという地域包括ケアを推進するための中核拠点を作ることになったので、医療・介護・障害全てを網羅しているひまわりからスペシャリストを1名派遣していただけないか』という相談がありました。真っ先に武山の顔が思い浮かび、本人と面談、今年度よりささえあいセンターへの出向が決まりました。

中学校区単位で散らばる石巻市の計12地域包括支援センターを集め、地域包括ケア推進会議の取りまとめ、また医療、介護、障害に加え、生活保護などの包括支援センターだけでは対応できない複合型ケースなどのコーディネート、更には石巻市役所内の各部門との協議など、非常に高い専門性をいかんなく発揮し、この1年間に渡り活躍してきました。

特に、武山は石巻市内の各社会資源の活用に着目し、『夜間のデイサービスおよび訪問車の活用』や、『生活困窮家庭の家財や衣類など生活必需品が破損した場合のリサイクルバンク』を行政に提案し、実現に向け現在活動を行っています。

また、武山がささえあいセンターに所属していることによって、ひまわりへの訪問看護、介護の依頼、また石巻健育会病院への入院に繋がっているケースも多数あり、健育会の広告塔として活躍していることも、推薦の理由のひとつになっています。

健育会の知名度向上、石巻市内における各事業体の楔としての貢献等、理事長賞に相応しいと考え、今月度の理事長賞として推薦させていただきます。